

わが国の地域産業集積と
「小さな」世界企業の成長過程の実証研究

専修大学 経営学部

溝田 誠吾

目 次

I. わが国の地域産業集積と「小さな」世界企業の成長過程の実証研究……………	1
II. 「小さな」世界企業は、日本にどれぐらい存在するのか?……………	4
III. 「タニタ」の成長過程の研究……………	15
IV. 『小さな』世界企業リスト 2007年(下期)付表……………	34
編集後記……………	41

I. 「小さな」世界企業の成長過程の実証研究の意義

1985年の「円高」局面以降、全国の各地域を基盤に独自でユニークな経営手法を駆使して成功し、「グローバルな構想力を持ち」世界的に著名になった中堅企業(従業員100~999人)、いわゆる「小さな」世界企業と、われわれが呼ぶ300~400社の企業群が成長、発展してきた。こうした企業群のうち、われわれの先行研究は(①「中部圏の産業集積と『小さな』世界企業の成長過程の実証研究」(平成16・17年採択)、②「わが国の地域産業集積と『小さな』世界企業